

問二 傍線部⑦「狼狽」、⑧「孤独に蚕食」されて」の本文中における意味として最も適当なもの

のを、次の各群のイ～ニの中から一つずつ選び、記号で答えよ。

- ⑦
- イ 悲しくなること
 - ロ あわてること
 - ハ 感動すること
 - ニ いやになること

- ⑧
- イ なんとか孤独を克服しようとして
 - ロ 孤独感のあまり気力をなくして
 - ハ しだいに孤独を感じるようになって
 - ニ 孤独にどうにも耐えられなくなって

⑦	
⑧	

問三 空欄 A ～ D には、イ「宝石」、ロ「石ころ」のいずれかが入る。それぞれ適当な

言葉を選び、記号で答えよ。

A		B		C		D	
---	--	---	--	---	--	---	--

問四 傍線部 I 「それから三年後に、平手打ちを喰らうような強烈さで思い起こさせられることにな

った」とあるが、それは結局どういうことか。その説明として最も適当なものを、次のイ～

ニの中から一つ選び、記号で答えよ。

イ 友人の話を聞き流していた私も、その後、山本周五郎をはじめとするさまざまな日本の書物に涙を流しそうになったということ。

第二講

練習問題

次の文章は、平安時代の女流歌人・和泉式部の娘、小式部にまつわる逸話である。これを読んで、後の問に答えよ。なお、「重要語句」については、後ろの「重要語句メモ」を参照すること。

小式部が歌のよきは、母の和泉式部によませて、ぬし(注1)になる、と御所中に披露aあり。内々口噂が広まる

惜しと 思ふbところに、あるとき、また内裏(注2)に歌合うたあはせありけるに、小式部も人数にんじゆにさされてけり。

すでにその日近く(例)なりけるころ、中納言定頼卿(注3)、かの局つぼねに來たりて、「御会の日も近くなり侍

りぬ。歌はいかがせさせ給ふ。丹後たんごより使ひは 来ずや。さぞ 心もとなく思おぼすらむ」など、

たはぶれて立たれけると、小式部 ひきとどめて よめり。

大江山(注4)いく野の道の遠ければまだふみも 見fず天の橋立(注5)

と 当座2にことわりければ、中納言伏目になりて、いふべきことばもなくて立たれけり。これよこのことがりしてこそ、小式部、母が力を借らざれども自身とよめるなりけり、と 世3の疑ひを晴らしけれ。あつてから 母の力を借りなくとも自分自身で

〔和歌威徳物語〕

〔出典〕

『和歌威徳物語』

〔重要語句〕

○口惜し

○侍り

○いかが

○給ふ

○心もとなし

○思す

○ふみ(文)

○当座

○ことわる

〔古典常識〕

○御所

○内裏

○歌合

○中納言

(注) 1 ぬしになる——作者になる。母の詠んだ歌を自作の歌として発表した、ということ。

○局

2 歌合——歌人を左右二組に分け、それぞれが詠んだ和歌を一首ずつ組み合わせて判者が優劣を判定し、その優劣の数によって勝敗を決める文学遊戯。

3 丹後——丹後国。現在の京都府北部。母和泉式部は、この時、丹後国にいた。

4 大江山……——「いく」には、「生野」(地名)と「行く」の意が、「ふみ」には、手紙の意の「文」と足を踏み入れるの意の「踏み」が掛けられている。丹後国には、大江山を越えて生野を通って行く。

5 天の橋立——丹後国にある景勝地。

○丹後

問一 傍線部 a) f) の動詞の活用の種類と活用形を、(例)にならってそれぞれ記せ。

e	c	a	(例)
行	行	行	ラ行四段
活用	活用	活用	活用
形	形	形	連用形
f	d	b	
行	行	行	
活用	活用	活用	
形	形	形	